



高齢者訪問事業が始まりました

高齢者部

部長 佐藤 満洲子

10月から、「ひとり暮らしと寝たきりの高齢者の方」を対象とした定期訪問事業が始まりました。

民生委員、友愛活動推進員、保健指導員の三者がチームを組んで、訪問を望まれたお宅に、月1回以上お伺いする制度です。

「向こう三軒両隣」「遠くの親戚より近くの他人」と、昔の人は言っていましたが、今ではあまり聞かれなくなった言葉ですが、高齢化社会の進んだ現在にこそ、より望まれることのように思います。

新しい福祉活動として発足したこの訪問事業も、お節介でなく、助け合いの近所付き合いが進められることを、目標としているのではないのでしょうか。



寺家町のように、古くから自然に開放されたお付き合いが続けられているところでは、訪問される側も、訪問する側も、平素から付き合いのある関係。だから格式ばった訪問事業の感じでなく、気軽にその日の出来事を話し合い、楽しいおしゃべりができたようです。

又、他の地区では訪問するお宅に日時の連絡をせずにお伺いしたために、一寸戸惑いを与えた感じもあったようです。やはり先方のご都合をお聞きして訪問するようにした方がスムーズなお話し合いが出来るのではないのでしょうか。

現在、おひとり暮らしの方々は、ある意味でひとり暮らしを楽しんでいらっしゃる方もあると思われます。



お子様やお孫さんの来訪もあるようですし、お好きな場所へのお出掛けも多いと見受けられます。

この訪問事業は決して強制的なものではなく、あくまでも対象者の方のご希望に応じてということになっております。

プライバシーの秘守は勿論、立ち入ったお話をお聞きすることもあります。

今回、希望なさらなかった方でも、何時からでもお電話をいただければ



お伺い致します。

訪問は、玄関先で、少時間で、を心掛けています。

これからの活動に、ご支援と、ご協力をお願い申し上げます。



地区社協とは(4)



第8号にて、社会福祉協議会(区・市・県等)は、今迄の活動を通して蓄積された専門的機能を持っている。この機能は、7つあり、(1)~(3)までについてお知らせしましたが、これらの機能を支えるために、さらに次の機能があります。

(4) 調査研究と開発の機能

地域の福祉ニーズや福祉活動の実態を調査研究し、それにもとづいて新しい活動を開発します。

たとえば、地域の実情にあった福祉サービスの運営方法を開発することなどは重要な活動の一つです。

(5) 計画策定と提言の機能

福祉課題に的確かつ継続的に応えていくために、住民参加の地域福祉活動計画を策定し、また、行政をはじめ関係機関に提言を行います。

(6) 広報活動の機能

福祉理念や福祉の制度、サービス等について、広く住民や関係者の理解を得るために広報紙の発行や情報提供活動を行います。

(7) 福祉活動支援の機能

地域で展開される住民の自主的・自発的な福祉活動や各種団体の活動を支援します。

(以下次号)



足（た）るを知る

大橋 米福

現代は飽食の時代で食物に事欠きません。自分の好きな物は幾らでも食べることができます。

グルメだ、グルメだと言って本当に美味しいのかどうか？安いのか、高いのかわからないものを、ただ、飾り付けを立派？にみせたりして食べさせて、いや、食べている。

食物だけではなく、着る物しかり持ち物もだ。人間の欲望というものには際限が無いのだろうか。

人間が生きてゆくのに必要最小限は、どの位だろうと考えた事ありますか。

「足（た）るを知る」というのは自分に必要な範囲の分量や度合いを自分できちんと知る事です。

「足」は、歩く時の足（あし）ですが、足（た）ると読む時は、口と止の合字の意味です。「口止」という熟字があり、＜他人に話さない＞ということで、口から外へ出す事を止めるのです。しかし、口から外へ出さないだけではなく、外から口へ

入るのを止める必要のある事実を記憶しておきましょう。

さしずめダイエットがその一例でしょう。健康を保ったり、美容のために食物の質や種類や分量を規制するのがダイエットですから。

しかし、食物は身体を健康にするためにだけ口にするではありません。健全な精神を養うために口に入れるのです。「足」が、口の下に止の字のあるわけがここにあります。

暴飲暴食は胃や腸に障害を起こすだけでなく、ものを考える思索能力を衰弱させます。量を過ぐすと眠気を催して、仕事や学習の妨げになるのは、誰でもが知っている所です。

食欲はたんなる食い気ではありません。食物の量、質、そして種類等を知り、自分に必要な分量等を知ることが大切だと思います。

「足ることを知る」ことです。

私は、本当の語源や意味はわかりません。ご存じの方教えて下さい。

★ 多欲の人は、利欲を求むること多きが故に、苦悩もまた多し
(雑阿含經)



集めていますご協力を



◎ 古切手

封筒（ハガキ）ごと切手の周囲を5mm位残して切り取って下さい。

◎ 使用済み

テレホンカード

☆ 封筒に入れてお近くの民生委員さんのお宅のポストに入れて下さい。

社協の行事予定

(11月～3月)

社協のこれからの行事予定について、お知らせ致します。

記

♥ すこやかお食事会

11月19日(火)

1月24日(金)

3月14日(金)

若草台地区センターで行います。

時間は、午前11時30分～午後2時30分頃。

♥ ふれあい中里北部

12月 3日(火)

12月17日(火)

1月 7日(火)

2月 4日(火)

3月 4日(火)

鴨志田コミュニティ・ハウス研修室で行います。

時間は、午後1時～4時の間。

尚、12月17日は、

「エレクトーンコンサート」を、ヤマハ本社専属デモンストレーター

鷹野雅史氏

に、お願いしましたので、皆様のご来場を、お待ちしております。

♥ 健康ひろば

11月13日(水)

11月20日(水)

11月27日(水)

鴨志田コミュニティ・ハウス研修室で行います。

時間は、午前9時30分～12時00分頃。

いづれも、間際にお知らせします。

編集後記

♣ 今年の夏も暑い毎日が続きました。人間は我儘なもので、暑ければ暑いで、不平を零し、寒ければ寒いで、愚痴をひろげます。言っても自身の力では、どうにもならないことがわかっていても、言わなければ済まない気性、困ったものです。不平ばかり言っていると、それが日常化して、他人に対する態度もゆがんでしまうのではないのでしょうか。心しくはありません。

♣ 訪問事業が始まりました。お節介と言う人も居るかと思いますが、苦しんで居る方、亡くなっても誰もわからなかった、知らなかった等と新聞で報道されると、何か淋しくありませんか。

♣ この様なことの無いように皆でお互いを見守り、助け合って生きて行こうではありませんか。

♣ 人はどんなことをしてもかならず死ぬのです。それまでの間にどれだけ社会、他人に尽くすことが出来たか、自分は何をしたかを、言えるようになりたいと思っております。そして死にたいです。できるかな？

♣ 皆さんからの、ご意見や投稿をお待ちしております。

(たけはな台1-1-43 大塚まで)

発行 中里北部地区社会福祉協議会
編集 " 広報部

山崎 正子・佐藤清美・大塚 米福(文責)(962-4625)